

# 平成29年度 町政執行方針

子どもたちや若者が夢や希望を持ち続け、  
元気で明るく安心して暮らせるまちづくり

豊浦町長 村井 洋一



## I. はじめに

平成29年豊浦町議会定例会3月会議の開会にあたり、平成29年度の町政執行方針について申し上げます。

本年は、昭和22年豊浦村から豊浦町へと町制施行してから70年となる節目の年を迎えますことから、町制にご尽力をいただいた皆さまに対し、功労者表彰式典に併せて、その功績を町民の皆さまとともに、表彰したいと考えております。

また、豊浦町のこれまでの歩みを記念映像として作成し、町民や観光客の皆さまにご覧いただくとともに、永く後世にしっかりと引き継いでまいります。

地方創生は喫緊の課題であります。

町では、この課題に対応するため、平成27年10月に、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「豊浦町人口ビジョン」「豊浦町総合戦略」を策定し、平成28年度を「豊浦町の新時代を拓く元年」と位置付け、その取り組みを進めてまいりました。

本年度においても、地方創生の実現に向けて、引き続きこの総合戦略のさらなる推進に取り組んでまいります。

「子どもたちや若者が夢や希望を持ち続け、町民の皆さまが元気で明るく安心して暮らせるまちづくり」、これが地方創生の最終目標であり、私自身の願いでもあります。

一歩の後退も許されない、そんな覚悟をもって、町民の皆さまとともに、地方創生の実現に向けて、全力で町政を執行してまいります。

また、総合戦略は、総合計画と同等の計画と位置付けていることから、その内容を十分踏まえながら、第6次総合計画の策定を進めてまいります。

## II. 町政に臨む基本的視点

「豊浦町総合戦略」は、町で実施する施策の中でも、特に重点的かつ優先的に取り組んでまいります。

また、国の「まち・ひと・しごと創生基本方針」や「まち・ひと・しごと総合戦略」などの動きも十

分留意し、活用できる国の交付金等は積極的に活用しながら、町の多様な資源などの「強み」を活用し、地域活性化に向け取り組みを進めてまいります。

地方創生を実現するためには、PDCAサイクルにより、総合戦略の推進状況をチェックしていくことが重要となります。

昨年7月に設置した「豊浦町総合戦略推進会議」の場において、産官学金労言など幅広い分野で構成されている委員の皆さまとともに、総合戦略の推進状況を確認していくことで、着実な総合戦略の推進に資するよう進めてまいります。

以下、総合戦略の基本目標ごとに、各分野別に具体的な施策を申し上げます。

## III. 分野別具体的な施策

### 【基本目標 1】

一次産業の強化や新たな価値創出により雇用を確保し、誇りを持って、働き続けたいまちづくりを実現する

#### 農業の振興

国内農業の情勢は、農業就業者の高齢化や担い手不足等の顕在化、集落人口の減少により、農地等の維持管理や生活サービス等に支障を来しております。

一方、海外ではトランプ米大統領が環太平洋パートナーシップ協定(TPP)の離脱を表明し、2国間自由貿易協定交渉に進むことが報じられており、今後その枠組みに注視し、こうした農業をめぐる情勢を的確に受け止め、発想を転換し、多様な人材を取り込みつつ、新たな手法の導入等に取り組んでいく必要があります。

町の農業については、農業業者の高齢化や担い手不足等に伴い、農家戸数の減少による遊休農地化が懸念されており、既存農業者への対応策が喫緊の課題であり、新規事業では、強い農業づくり事業や施設園芸型農業基盤強化事業により、規模拡大を目指す担い手に対して支援するとともに、多面的機能支払交付金事業、中山間地域直接支払交付金事業に引き続き支援してまいります。